

科目		単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)	
ウィメンズヘルスケア論		1 (30)	1 学期	① 並崎 直美 (助産師) (14) ② 吉田 和也 (医師) (2) ③ 今西 健二 (管理栄養士) (6) ④ 国安 澄江 (看護師) (4) ⑤ 和田 あつ子 (マタニティヨガインストラクター) (4)	
目標					
助産の対象である母子及びその家族の健康を維持・増進するために必要な要因を理解できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	3	性行動、性の多様性	1) セクシャリティとは ・からだの性とこころの性 ・ジェンダーアイデンティティ ・性の多様性	講義	①並崎 直美
2	1	プレコンセプションケア	1) プレコンセプションケア	講義	
	2	女性のライフサイクル各期における健康課題とケア 生殖に関連した疾患 家族計画	2) 思春期女性の健康課題とケア 3) 性教育 4) 家族計画の意義と考え方 5) 受胎調節の実際 ・避妊法・産後の家族計画と避妊法 *本講義は受胎調節実地指導員認定のための講習を含む。		
3	2	女性のライフサイクル各期における健康課題とケア 生殖に関連した疾患	1) 成熟期女性の健康問題とケア 子宮内膜症、子宮筋腫、乳がん 2) 更年期女性の健康問題とケア 加齢に伴うエストロゲン欠乏症状 更年期女性のヘルスプロモーション	講義	
4	2		3) 中高年女性の健康問題とケア 尿失禁、骨粗しょう症、更年期障害 子宮がん	講義	
5	3		4) 生殖器疾患をもつ女性のケア 【事例演習】 「子宮筋腫で腹式子宮全摘出術を受ける女性」 ・周術期におけるアセスメントとケア ・保健指導案の作成	講義	

6	2	女性のライフサイクル各期における健康課題とケア	1) ジェンダーと女性のライフサイクル 2) 家族のライフサイクル 3) 性差医療と女性外来 ・女性の健康と性差医療 ・女性のライフサイクルと女性外来に求められること	講義	④国安 澄江
7	2		4) 産婦人科における医療者側と利用者側とのいい関係のあり方 ・相談から見る女性の健康とは ・性暴力・DV 被害者への援助のあり方 ・女性の自己決定とジェンダー		
8	2	母子の歯科保健	1) 歯の構造 2) 胎児期からの歯牙形成 3) 摂食と口腔機能の発達 ・乳児摂食反射・咬反射 ・口腔の発育、摂食機能の発達 4) 口唇・口蓋裂のある子どもの治療 5) 妊娠期の歯科保健 ・つわりやホルモン変動がう蝕と歯周疾患に与える影響 ・歯科受診に適した時期 ・歯周病が妊婦・胎児に与える影響 6) 産後の歯科保健 ・う蝕起因菌の母子間伝達の予防 ・母乳とう蝕	講義	②吉田 和也
9	2	食生活と母子の健康	1) 母子の栄養をめぐる課題と対策 妊娠前の「やせ」、低出生体重児の増加、成人病胎児期発症説 2) 妊産婦・授乳婦の臨床栄養 ・妊婦の食事摂取基準 ・摂取に際して留意すべき食物 ビタミンAの過剰摂取、葉酸、カルシウム、鉄 ・推奨体重増加量 ・妊産婦のための食生活指針 ・授乳婦の食事摂取基準	講義	③今西 健二
10	2		3) 妊産婦の病態と栄養 ・つわり、肥満 ・糖尿病 ・妊娠高血圧症候群 ・貧血	講義	
11	2		4) 乳幼児の栄養 ・乳児の食事摂取基準 ・授乳・離乳の支援ガイド ・離乳期の栄養 5) 食物アレルギー		

12 13	4	妊産婦の心身トレーニング	マタニティ・ヨガ	講義 演習	⑤和田あつ子
14	1	終講試験 (45分)			①
授業形態	講義、演習				
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 (講師① 60点、講師③ 40点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。				
テキスト	講師① ・助産学講座2 ・助産学講座5 ・助産師基礎教育テキスト2 講師②③⑤ ・助産学講座3 講師④ ・助産学講座5 ・助産師基礎教育テキスト2				
参考図書等	・産婦人科診療ガイドライン2023 産科編				
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。				